

## TOPICS

- 新しいC型慢性肝炎の治療
- 『行ってみたらこんなところ!』  
～老健～』

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

## 診療科目

**内科** (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)  
**外科** (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)  
**整形外科** (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)  
**眼科** (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)  
泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来  
形成外科・脳神経外科  
予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・  
破傷風・おたふく風邪・肝炎)※対象 15 歳以上  
ウエルネス外来(要予約)※自由診療

## 受付時間

【午前】8:00～12:00 【午後】8:00～16:30

診療開始

【午前】9:00～ 【午後】14:00～

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合がございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

## 面会時間

11:00～20:00(面会時間は他の患者さまにご迷惑のかからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071

東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://denenchofu-hp.jp/>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

## 病院理念

支える医療を実践する

## 基本方針

- 救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- 地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- 疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

## 患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。



C型肝炎の治療薬としてインターフェロンが世に出たのが1991年ですから、すでに20年以上が経過しました。当時は肝生検が必須で、治療も入院して施行していましたから、大学病院には検査と入院のために大勢の患者さんがいつも順番待ちといった状況でした。

肝生検というかなり侵襲的な検査まで受けなければならなかった上に、当時のインターフェロンは副作用がかなり強く、投与初日の夜は悪寒・戦慄症状が激しく出現し、昼までは元気いっぱいだった人でも夜はぐったりとベッドに寝込んでしまうのが普通でした。



ここまで頑張っただけなのにHCVの多くはインターフェロンに抵抗性であったため当初のウィルス排除率はわずか5%しかありませんでした。



その後、インターフェロンにポリエチレングリコール（PEG）を付加させた薬が開発され（ペグインターフェロン）、更にリバビリン併用療法が始まったことで副作用は以前より格段に軽くなり、これまで難治例と言われたものでも50%のウィルス排除率に改善されました。

2011年にはプロテアーゼ阻害剤という新しい作用を持った薬剤も登場し、ペグインターフェロン、リバビリンを加えて3剤を併用することでさらに治療効果が上がり、以前の治療で効果が上がらなかった場合にも治療効果が80%を超えられるようになりました。



それでもインターフェロンにまつわる「副作用の強いきつい薬」「つらい割には効かない薬」といったイメージはC型肝炎の患者さんの中には強く印象付けられているようで、治療効果がどれほど優秀に変わってきても、インターフェロンだけは嫌と拒否反応を示される人は少なくありません。

2011年のプロテアーゼ阻害剤に続き、ポリメラーゼ阻害剤などC型肝炎ウィルスの増殖に必要なたんぱく質の合成を阻害する薬が続々と開発されてきています。これらの直接作用型抗ウィルス薬（DAA）は経口薬であり、幾つかの薬剤を組み合わせることでインターフェロンを使わない治療が可能になりました。今年中にはNS3阻害剤（アスナプレビル）とNS5A阻害剤（ダクラタスビル）を24週間投与する2剤併用療法が認可される予定です。気になる治療効果はウィルス駆除率81~87%と遜色なく、経口薬という使いやすさもあって医療の現場が大きく変わるのではないかと思います。

但し、薬剤耐性ウィルスが既に存在していることが知られており、こうした人に安易に治療を開始してしまうと、後々どの薬も効かない多剤耐性症例になってしまうことが危惧されているので、治療法の選択はこれまで以上に重要になっています。





私たち医療ソーシャルワーカーは病気や入院に伴う様々な不安を少しでも軽減できるようお手伝いしております。なかでも多く聞かれるのは退院後の生活に関するご相談です。病院での治療を終えた後、介護サービスを利用してご自宅へ帰る方、リハビリを集中的に行う病院へ転院される方、高齢者向けの施設で生活される方など方向性は様々です。近年の高齢化に伴い、高齢者向け施設の機能、特徴は多様化しています。今回は病院と自宅の中間施設である「介護老人保健施設」通称“老健”についてご紹介いたします。



## ❁ どんなどころなの？

病院での治療を終えて病状の安定した方が、ご自宅へ戻る為にリハビリを行う施設です。



## ❁ どんな人がいるの？

要介護 1～5 の方が入所可能です。車イスに乗って過される方が多く、杖や歩行器を使って歩ける方もいます。

## ❁ 特別養護老人ホームとなにが違うの？

介護老人保健施設と同じく要介護 1～5 の方が入所出来ますが、特別養護老人ホームには介護度が高くご自宅での介護が難しい方が優先的に入所されています。身体の状態としては寝たきり全介助の方が多く、入所の待機者が多くいます。

## ❁ 一日なにをして過ごしているの？

日中はお部屋ではなく、ロビーで過ごされます。テレビを見たり、新聞を読んだり、入所者同士でお話をしたり、体操やレクリエーションを楽しむ時間もあります。ご自宅へ帰ることを想定してベッドから離れて生活することを勧めています。

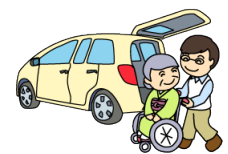


## ❁ リハビリはどれくらい出来るの？

基本的には一回 20 分程度のリハビリを週 2～3 回提供しています。リハビリを重視している施設もあり、それ以上のリハビリが可能な場合があります。

## ❁ ずっといられるの？

ご自宅へ帰ることを目的としているため終身いられる施設ではありません。3ヶ月おきにご自宅へ帰れるかどうか、方向性を検討します。



入所のお申し込みには、主治医の診療情報提供書や検査データ等の書類が必要です。またご家族様との面談、先方施設での判定会を経てご入所の運びとなります。入所をご希望の方は当院医療ソーシャルワーカーへご相談ください。

## 医療福祉科のご案内

平日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:30 TEL03-3721-7121(代表)

医療ソーシャルワーカーへのご相談は事前にお電話いただくか、1F 受付または各階ナースステーションへお声掛けください。相談は無料です。秘密は厳守いたします。





「夏に負けないキレイなワタシ」



7月～8月末 ウェルネス自由診療外来  
サマーキャンペーン

～夏バテ防止・解消・夏の紫外線などに負けないために～

予約専用フリーダイヤル ☎ 0120-925-033  
ご予約受付時間（月曜から金曜の14:00～17:00）



肩こりや冷え、食欲不振、  
ビタミンB群を補い  
倦怠感を解消!!

- ☆にんにく注射 ¥3,000
- ☆スーパーにんにく注射 ¥4,000  
→ ¥3,300
- ☆ウルトラにんにく注射 ¥5,000  
→ ¥4,300

疲労回復!

これから飲み会が多くなる季節  
二日酔いや、飲みすぎた時の一本!

- ☆二日酔い注射  
¥2,000 → ¥1,500

飲みすぎた時に



ウェルネス  
自由診療  
外来



ホワイトニング注射

お肌の対策にピッタリ!!  
紫外線対策にも

- ☆ホワイトニング注射  
(高濃度ビタミンCベース)  
¥15,000 → ¥12,000



日焼けしたお肌に潤いを!

ミネラル、マルチビタミンを注入し体の  
酸化を防ぐ。美肌効果、疲労回復が期待!!

- ☆ミラクルサマーホワイトニング注射 ¥15,000 → ¥12,000



Summer campaign

2014.07-08.31 田園調布中央病院